

農業と母業の両立に向けた課題整理と改善の開始

- 屋号・法人名等 縄田農園
- 氏名 縄田加奈江
- 所在地 宇部市妻崎開作
- 生産品目 アスパラガス、菊、その他
- 就農年 平成 27 年



○経営改善のきっかけ

農業も母業も懸命に取り組んでいるが、子供も小さく、とにかく忙しい状況であり、思うようにやりたいことができず、その状況を改善したいという思いがあった。そこで、農業コンサルタントの佐川友彦氏に依頼し、農業と母業を分けて課題の整理を行い、できるところから改善に取り組むこととした。

○経営改善の取組内容

1 農業と母業の課題整理

農業と母業の課題は交錯しているが、あえて分けて書き出すように意識し、整理された。また、何のために経営改善に取り組むのか、経営改善を得てどのような状態になりたいのか、いつまでに達成するのかを併せて整理した。

<問題点・課題>

- ・農業：複合経営ゆえの作業の複雑性、農作業と家事の両立、栽培技術の向上、収益の向上、会計管理の充実 等
- ・母業：家事負担の大きさ、習い事など送迎時間、体力気力低下、子どもとの時間の充実、家計管理の充実 等

2 改善のアイデア出し

日々の仕事や生活の中で、ふとした時に思いついた「ここを良くしたい」、「いつか克服したい」といったようなアイデアを集め、整理された。頭の中にあるものを書き出し頭の中を空っぽにすることに注力し、改善アイデアを 100 件ほど整理した(うち 5 件改善実施)。

3 改善の実践

(1) 課題やアイデアを共有

ホワイトボードや手書きのものは画像保存し、LINE、Excel、手帳で別々に記入していたものをノーションアプリで整理し、夫と共有し、一元管理できるようにした。

(2) 環境整備(仕事場、家庭)

作業場は先輩農家から学んだ、作業導線に合わせた器具や機の配置に模様替えをした。必要最低限のもの以外は置かない整理整頓を実践した。作業が効率的にできるようになり、心身共に負担が減り、捨てるときに困るものは買わなくなり、経費削減にも結びついた。家庭では、基本は自分でできるようにすることを目標に、片づける場所を決め、共有スペースにはものを置かない等のルールを決めた。また、お掃除ロボや食洗機、家計管理アプリ等の活用も積極的に行うことで、家事の効率化に向けた環境づくりを進めた。

(3) ほ場マップの作成

複合経営で栽培品目が多いため、除草や薬剤散布などの作業の進捗状況がほ場ごとでわかるように、ほ場マップを Google earth で作成し、ホワイトボード及び携帯で夫と共有できるようにした。



ほ場マップ

(4) 季節ごとの時間割作成

季節によって作業内容が変わるため、季節ごとの時間割を作成した。併せて、雨の日に実施する作業の時間割を作成。効率的に時間を使えるようになり、プライベートの時間も確保できるようになった。また、雨の日にムダな時間を過ごすことが無くなった。

(5) やることを Google カレンダー日時指定し共有

やることを Google カレンダーに日時指定して記入することで、夫とリアルタイムで共有できるようにした。忙しくて話ができないときでも、スケジュールを調整することができるようになった。また、アラーム機能を活用し、発注等のうっかり忘れの防止、共有することで、二重チェックにもつながった。具体的な行動予約ができることで、覚えておかなくてよい気楽さが生まれた。

○経営改善の取組効果

農業と母業に分けた課題整理や経営改善の目的や理想、目標を取りまとめることで、やることが明確になり、ストレスが軽減された。

改善アイデア100件を整理することができ、経営改善を常に意識できるようになった。

また、できることから改善を実践することで、効率的に時間を使えるようになり、時間や気持ちに余裕がもてるようになった。

○今後の経営改善への取組意向

2025年(就農10年目)までに、発案した100+αの改善を実施する予定である。

<今後への想い>

鳥の目・虫の目で視野を広めつつ、農業に真摯に取り組み、同時に、著しい成長を見せてくれる子どもとの時間も大切にしたい。今が一番若い！まずはやってみる！まだまだ臆せず、カイゼンの宝庫あり。「凡事徹底」小さなカイゼンをかき集めて、農業と母業の糧にしようと思う。